

体験学習が学校を変える

堀 真一郎（学校法人 きのくに子どもの村学園学園長）

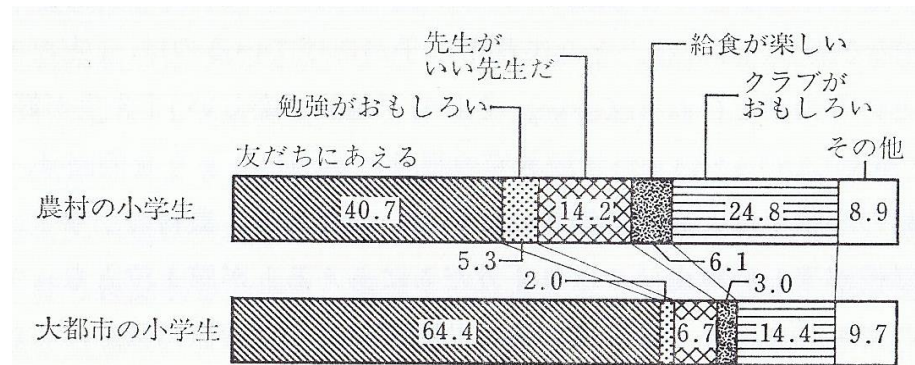
1. 子どもの村学園とは

1992年4月、和歌山県橋本市に最初の小学校を開校。'94年に中学校、'98年に高等専修学校を併設。現在、ほかに福井県、福岡県、山梨県、長崎県に小学校と中学校を開校。常勤職員110名、児童生徒数710名。

- 「先生」がない → 「さん付け」やニックネームで呼ばれる。
- 学年の壁がない → 完全縦割り学級編成
- 教科の壁がない → 体験学習が中心（「プロジェクト」）
- 学校のまわりに壁がない → 地域社会は教室の延長
- 給与の差がない → 基本給が全職員同額、などなど

2. 「学習がいちばん楽しい」といえる学校を

学校でいちばん楽しいのは？（1984年の調査）



3. 子どもが決める、子どもが選ぶ —ニールのサマーヒル・スクールに学ぶ—

「困った子というのは不幸な子である」
「私の仕事は教育解除といってよい。」（ニール）

- ◇ 「自分自身の生き方をする自由」
- ◇ 授業に出る出ないの自由
- ◇ 5歳の子の一票も校長の一票も同じ
- ◇ 「プライベート・レッスン」
- ◇ ファーストネームで呼び合う



4. 考える楽しさ、工夫する喜びを — 小さな科学者のように考える

「1オンスの経験は1トンの理論にまさる」

「このたびは子どもが太陽となり、その周囲を教育のさまざまな仕組みが回転することになる。子どもが中心となり、その周りに教育についての仕組みが組織されることになる。」
(デューイ)

→「活動的な仕事」が学習の中心に

創造的な思考の5局面（デューイ）

1. 問題の感知 Sense of a Problem
2. 問題の観察 Observation of the Problem
3. 仮説の暗示 Suggestion of the Hypotheses
4. 結論の推敲 Elaboration of a Conclusion
5. 行動による検証 Active Testing



パチンコを作っています。釘が出てしまいました。この小さな科学者はどうしたでしょう？

5. プロジェクト（体験学習）が中心の自由な学校

◆ 教育の目標……「自由な子ども」

感情の自由
知性の自由
人間関係の自由

◆ 教育の基本方針

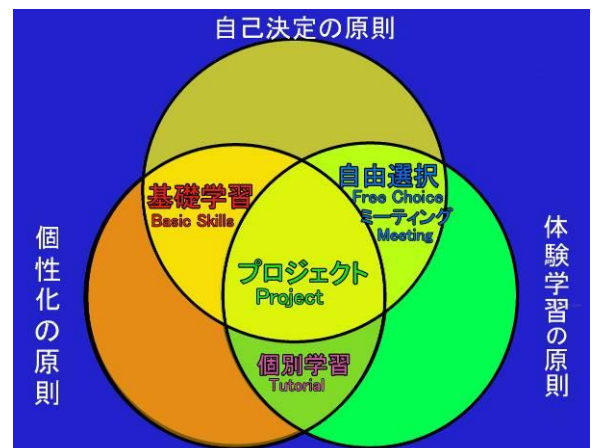
教師中心 → 子どもの自己決定
画一教育 → 個性化
書物中心 → 体験学習

◆ 学習の形態

プロジェクト
基礎学習
個別学習 (Individual Lesson)
自由選択・ミーティング

◆ クラス編成と時間割

プロジェクト中心の時間割
(Project-centered timetable)
縦割り学級 (mix-aged groups)

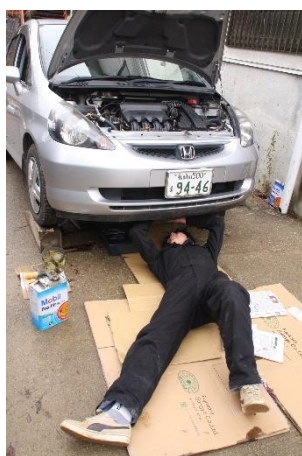


6. 子どもの村の卒業生たち

学力は大丈夫？……高校進学後の成績調査

学習を楽しんでいるだろうか？……学校で一番楽しいのは？（きのくにでの調査）

プロジェクトの様子



- 参考文献** A. S. ニール（堀真一郎訳）：新訳ニール選集・全5巻）、黎明書房
ジョン・デューイ（宮原誠一訳）：学校と社会ほか、岩波文庫
堀 真一郎：自由学校的设计、黎明書房（1997）
堀 真一郎：きのくに子どもの村の教育、黎明書房（2011）
堀 真一郎：体験学習で学校をえる、黎明書房（2021）
堀 真一郎：教育の革新は体験学習から—堀真一郎教育論文集
黎明書房（2022）